

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年11月24日

計画の名称	都市計画道路の立体交差化による円滑な道路網、及び歩行者の安全確保の形成(防災・安全)												
計画の期間	平成29年度～令和03年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	古賀市												
計画の目標	平成18年に法指定を受けた鹿部踏切は、古賀市の都市計画道路に残存する法指定を受けた最後の踏切である。この鹿部踏切を立体交差化することにより円滑な道路網を形成し、歩行者の通行安全確保を目指す。 また、立体交差化により、国道495号と都市計画道路浜大塚線交差点部における渋滞を緩和し、交通機能の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	900	A	900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H33末)
1	都市計画道路における法指定踏切道の解消 1箇所/市内都市計画道路(H29時点)⇒0箇所/市内都市計画道路(H33) 立体交差化により踏切を除却	1箇所	箇所	0箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	古賀市	直接	古賀市	S街路	改築	浜大塚線	踏切除却 L=0.42km	古賀市	■	■	■	■	■	900		—
											小計						900		
											合計						900		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

古賀市建設産業部建設課にて評価を実施した。

事後評価の実施時期

令和4年11月

公表の方法

古賀市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

JR鹿部踏切を除去し道路を立体交差化することにより、円滑な道路網を形成し歩行者の安全確保に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	0箇所	
	最終目標値	0箇所
	最終実績値	0箇所